



キリン食生活文化研究所

2018年2月27日
レポート vol.71

～あなたのくらしのアンケート～
お金を通して誰かを応援する

サマリー

お金を通して誰かを応援する

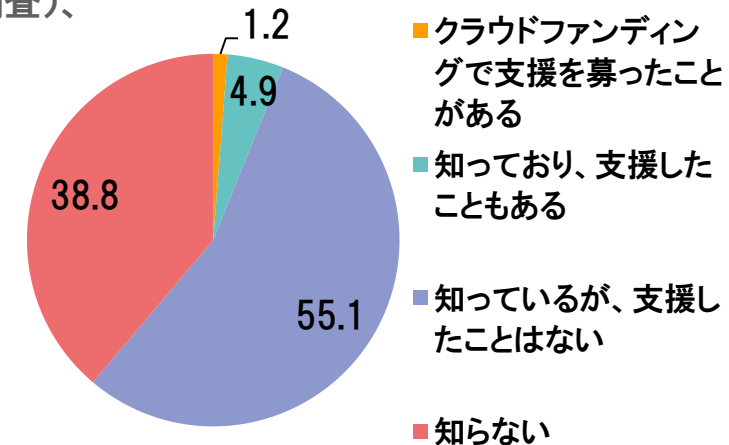
麒麟食生活文化研究所は、「お金を通して誰かを応援する」ことについて調査を実施(2017年12月5日～12月12日、全国、ウェブ調査)、男女20～69歳 計22,608名の方の回答をまとめました。

今回は主に募金とクラウドファンディングについてお聞きしました。この1年間に募金をしたことがある人は69.7%でした。一方クラウドファンディングを知っている人は61.2%でしたが、支援を募ったことがある人は1.2%、支援をしたことがある人は4.9%と、まだまだクラウドファンディングを利用したことがある人は少ないようです。

募金・クラウドファンディングをする理由としては、共に「目的に共感した」が最も多かったですが、クラウドファンディングは過程や結果の報告がしっかりしている場合が多いことから、同じ目標を目指して共に取り組んでいる実感がより得られやすいことようです。

まだまだ利用率は低いクラウドファンディング、プロジェクトの見極めは重要ですが、良いプロジェクトを支援できた際は、募金など他の支援とは一味違う嬉しさを味わえそうです。

Q.クラウドファンディングを知っていますか？
やったことがありますか？



- クラウドファンディングで支援を募ったことがある
- 知っており、支援したこともある
- 知っているが、支援したことはない
- 知らない

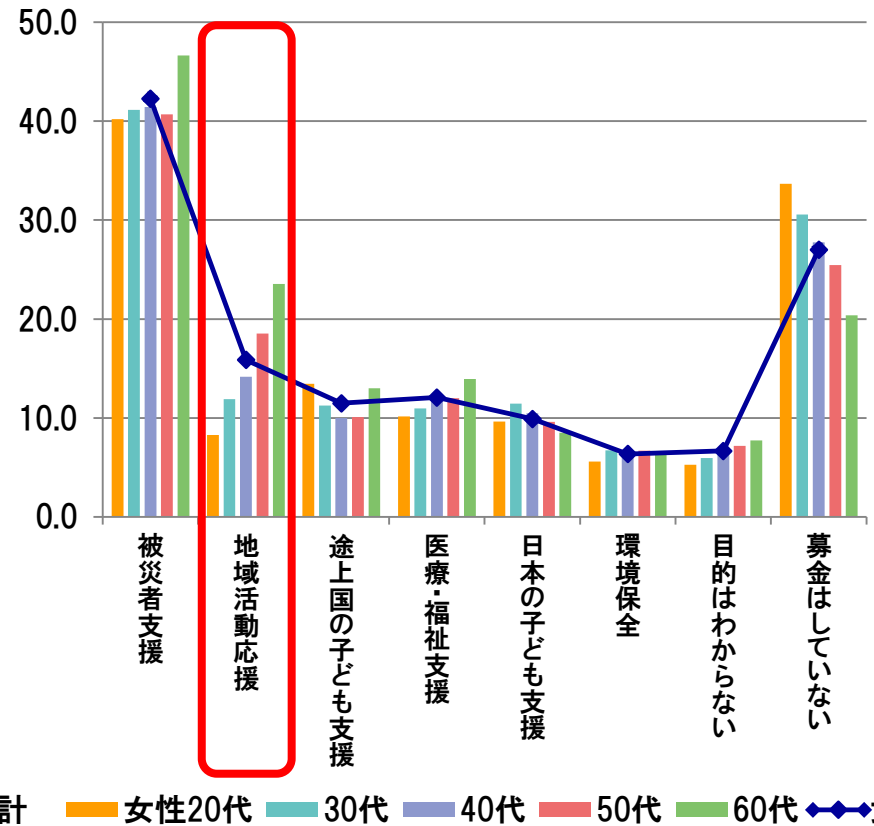
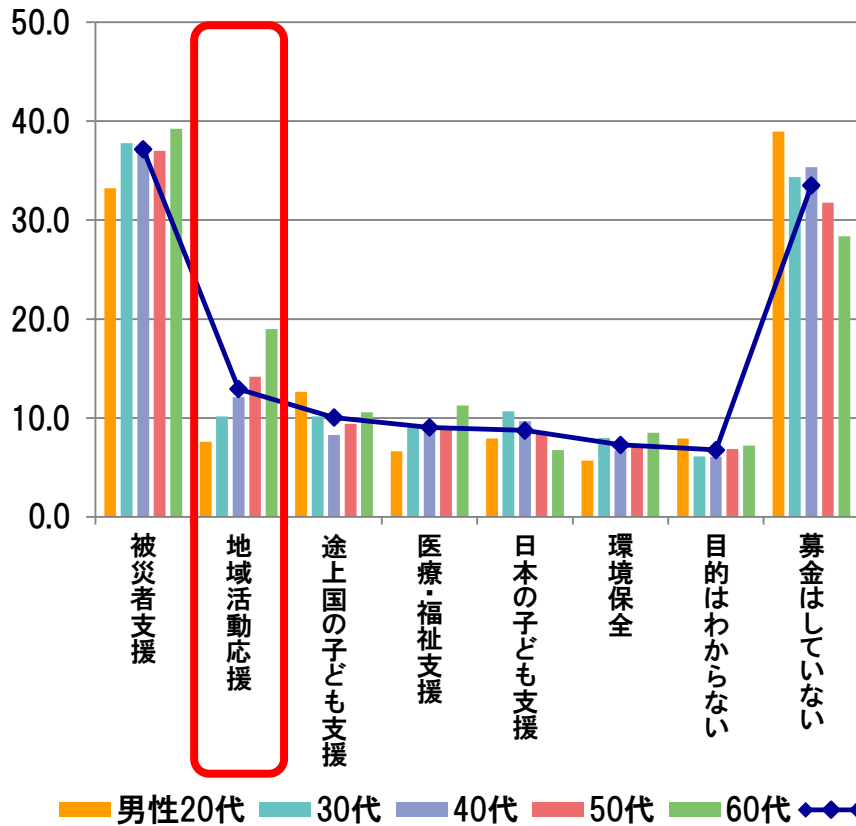
Q.直近1年間でした募金は、どのような目的のものでしたか？

男女共に「被災者支援」目的の募金が最も多い。年齢による差は「地域活動応援」が大きく、年齢が上がるほど地域との関わりが多くなっていることが背景としてありそうだ。一方、「募金をしていない」人も一定数おり、若年ほどその傾向は強まっている。

直近1年にした募金の目的

男性

女性



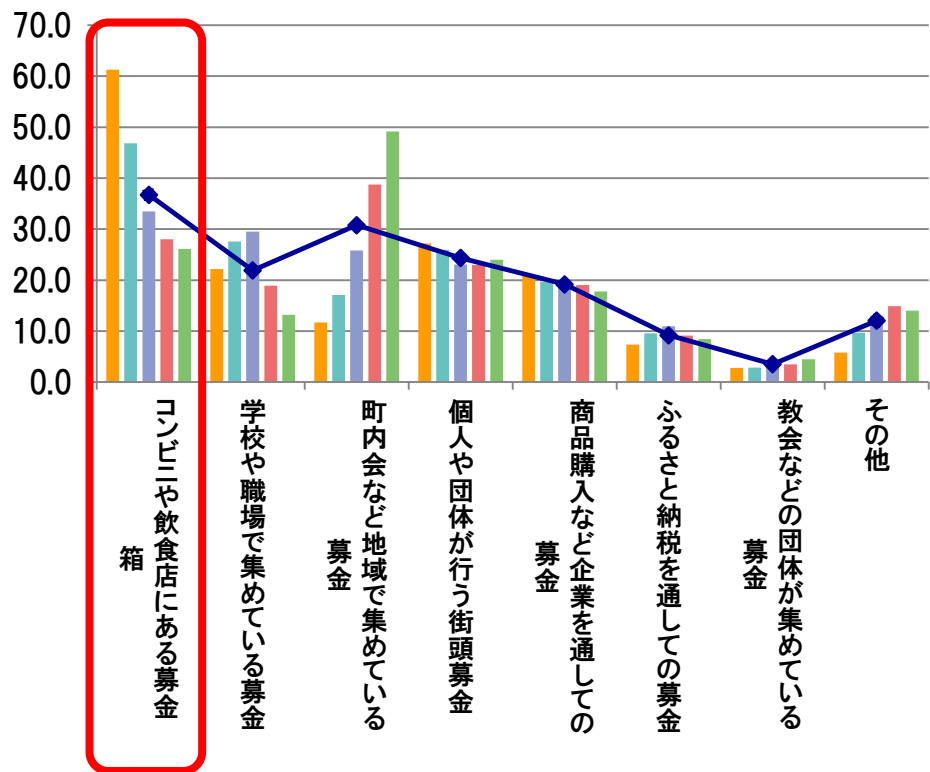
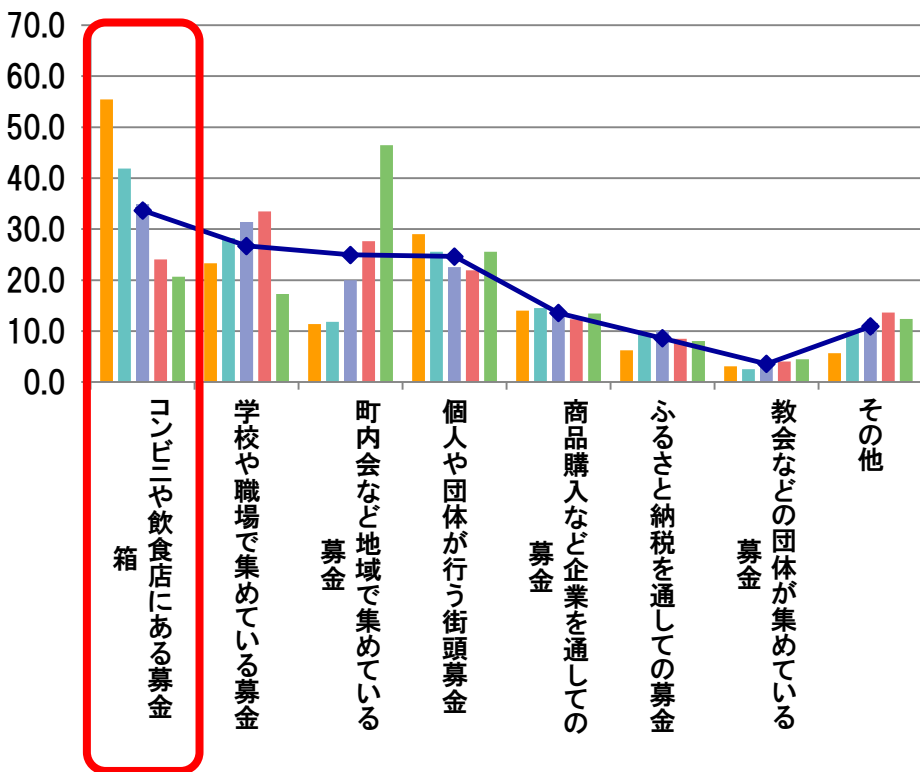
Q.どのようなルートで募金をしましたか？

「コンビニや飲食店にある募金箱」の割合が若年ほど高い結果となった。「地域で集めている募金」は年齢が上がるほど高くなっている。「その他」ではインターネットを通じた募金(ポイント含む)や、スポーツなどのイベントでの募金が多く挙がっていた。

募金のルート(直近1年で募金をした:15,762人)

男性

女性



男性20代 30代 40代 50代 60代 ◆◆◆男性計

女性20代 30代 40代 50代 60代 ◆◆◆女性計

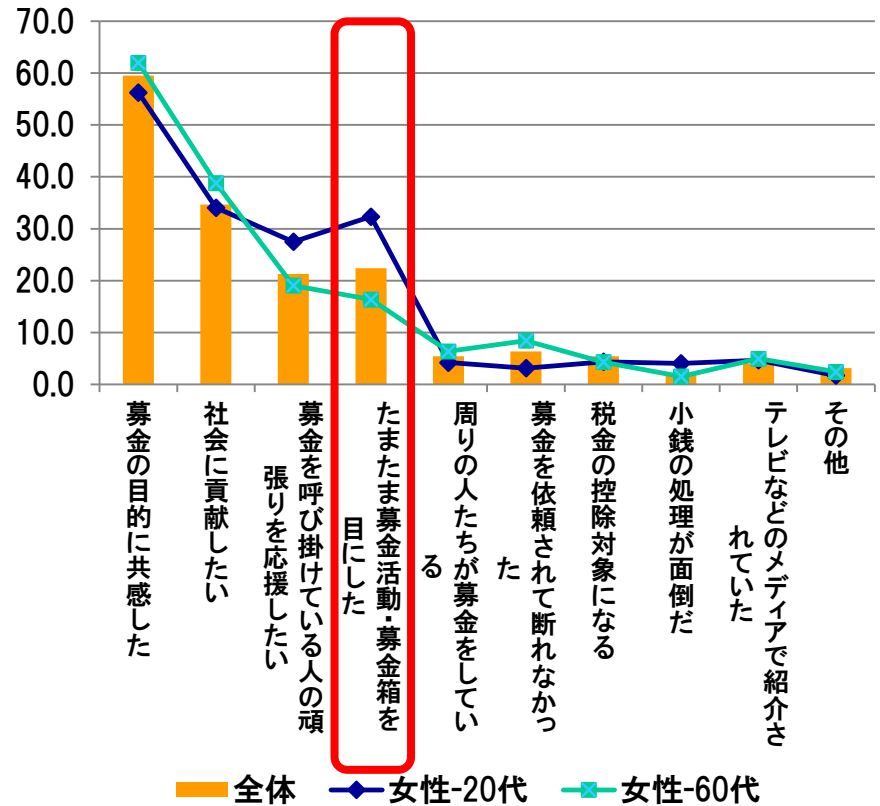
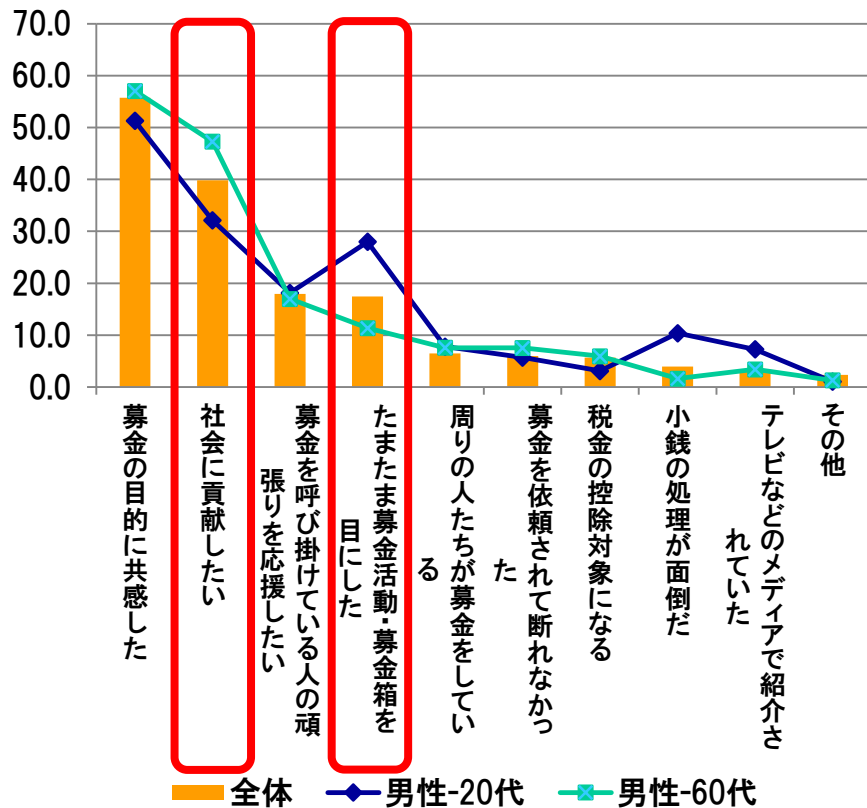
Q.募金をするのはどのような理由ですか？

20代は「たまたま募金活動・募金箱を目にした」が高く、前問の結果とあわせるとコンビニや飲食店などでふらっと募金することが多いようだ。男女を比較すると「社会に貢献したい」が女性では年齢差が小さい一方で男性では差が出ており、男性は退職後の社会貢献意欲を満たす手段として募金を活用しているようだ。

募金をする理由(直近1年で募金をした:15,762人)

男性

女性



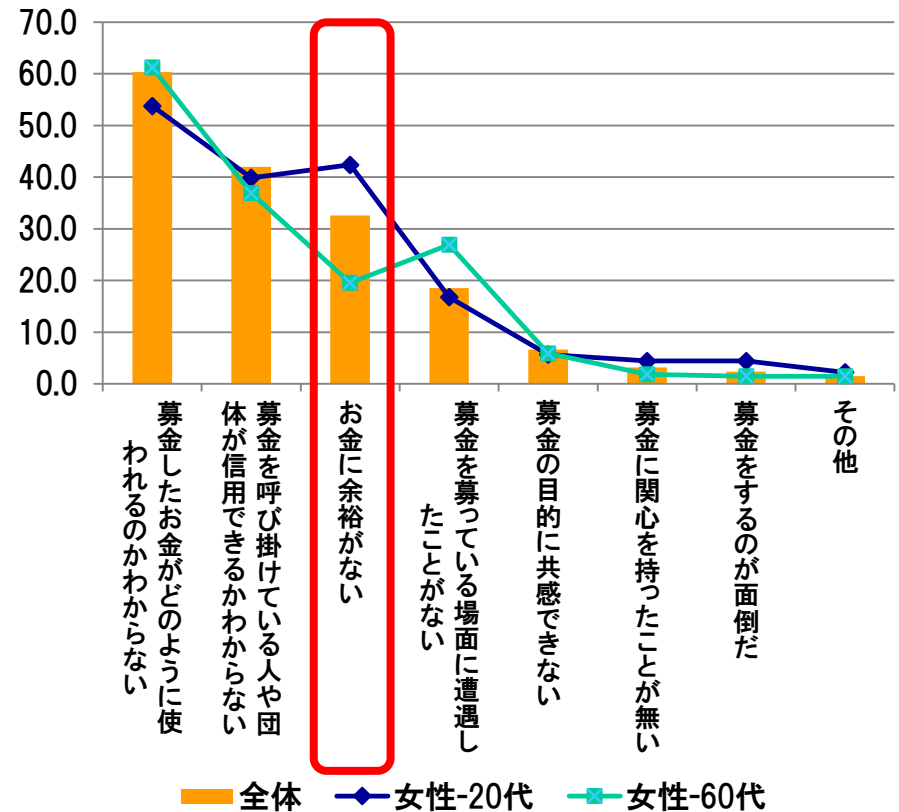
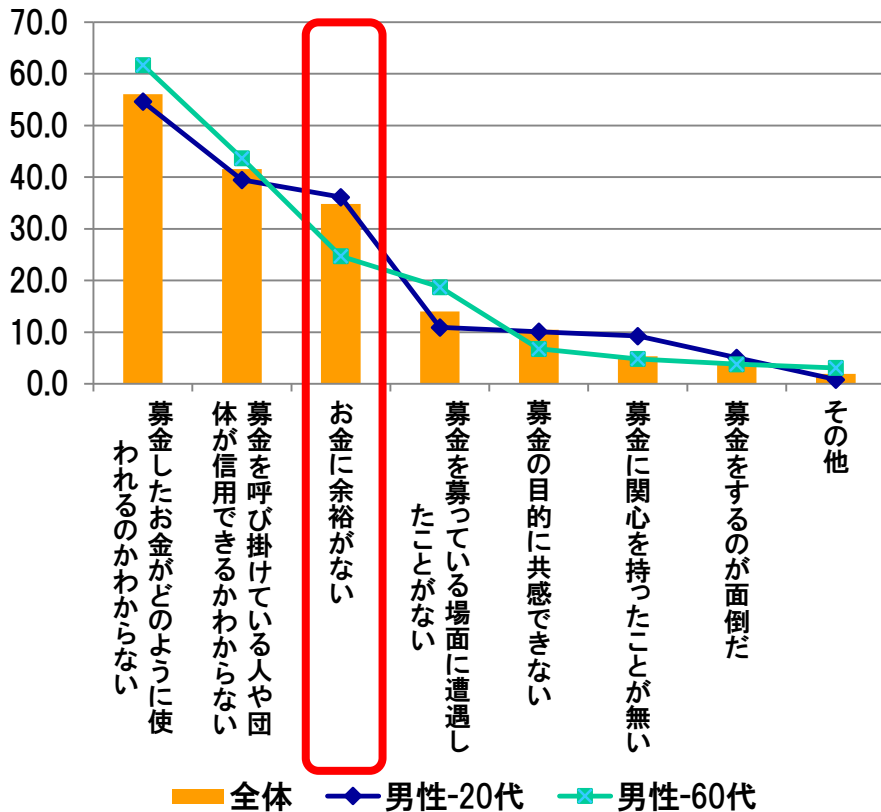
Q.募金をしないのはどのような理由ですか？

年齢性別に関わらず、募金の使用目的や募金を実施する主体への不信感が募金をしない大きな理由となっている。20代では「お金に余裕がない」ことを理由に募金をしない人の割合が高く、この傾向は女性の方が顕著に出ている。

募金をしない理由(直近1年で募金をしていない:6,486人)

男性

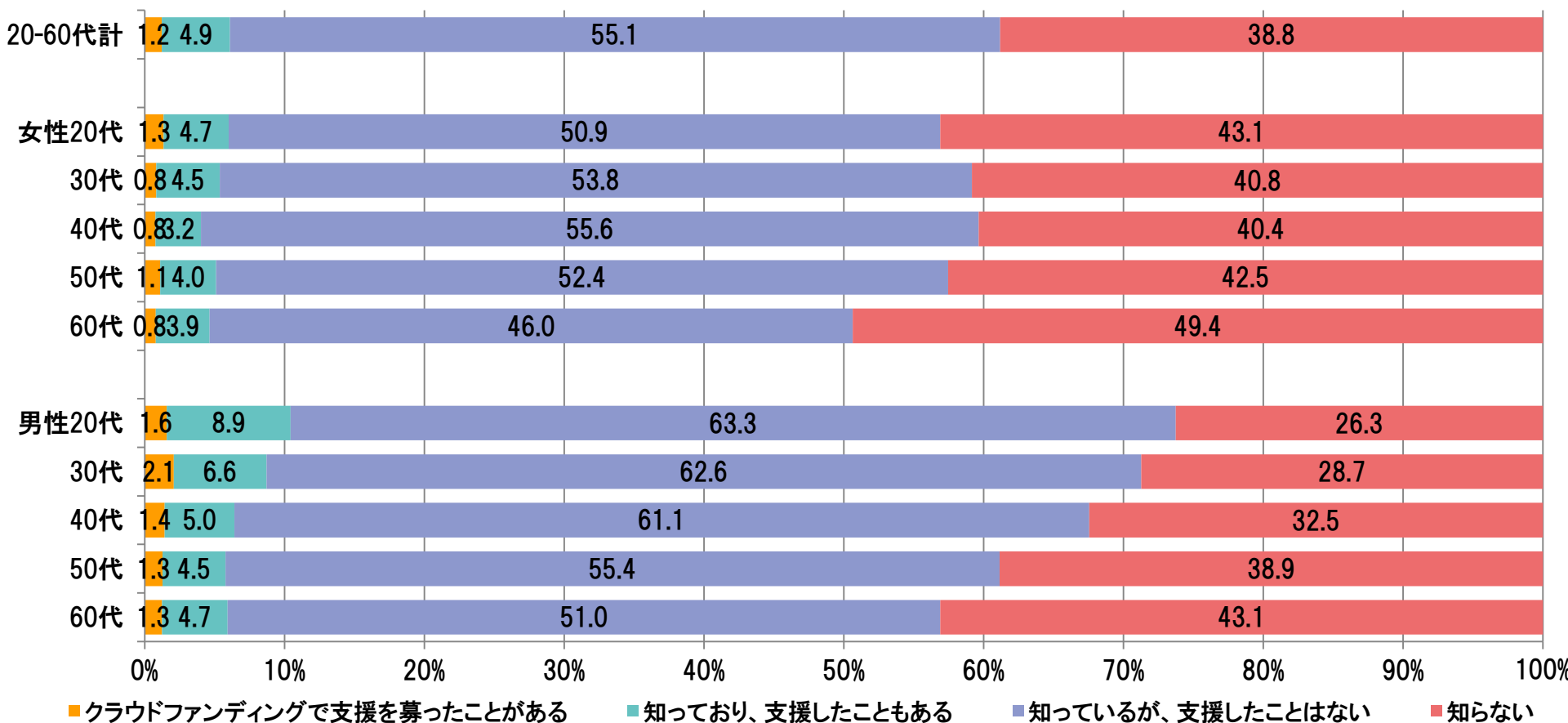
女性



Q.クラウドファンディングを知っていますか？やったことがありますか？

クラウドファンディングについての認知度は60%以上あるものの、実際に支援を募った・支援したことがある人は足しても6.1%とまだまだ少数。女性は年齢差が小さかったが、男性は20～30代が比較的活用しているようである。

クラウドファンディングについて



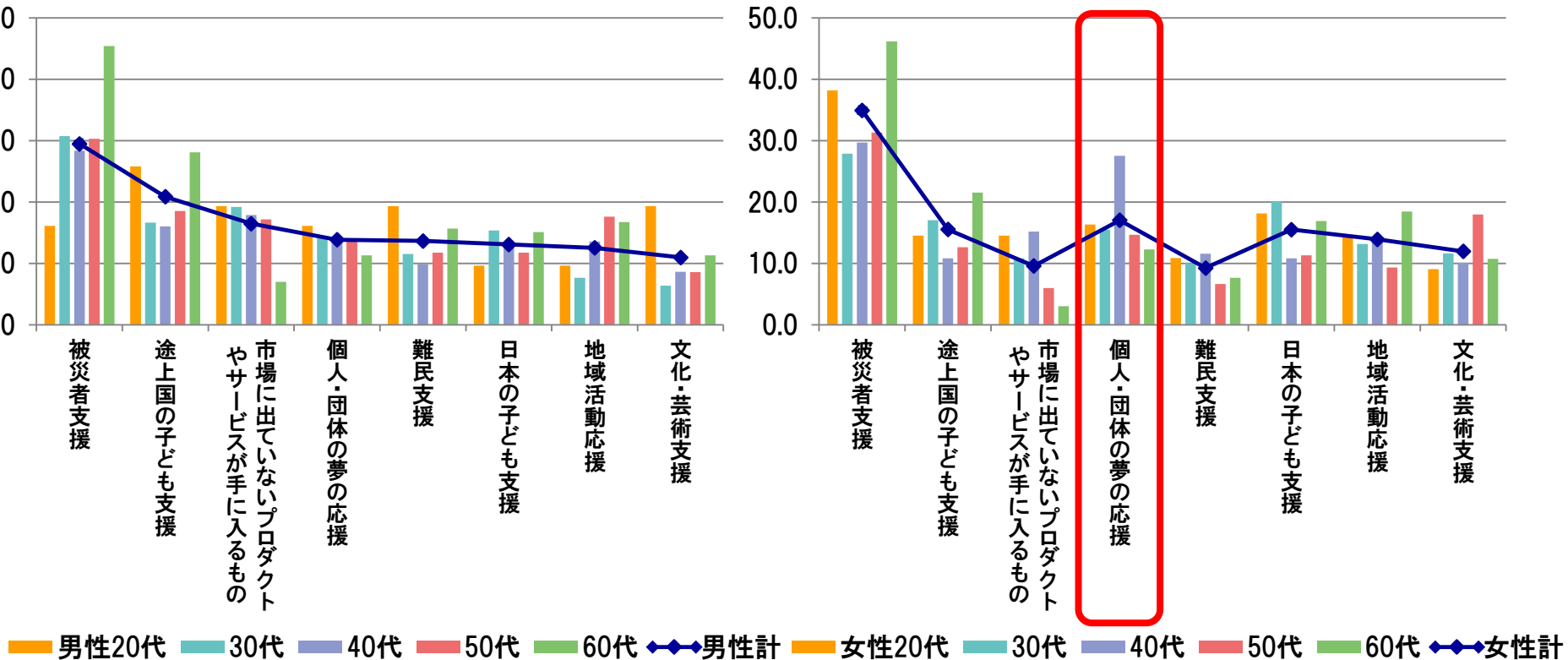
Q. どのような目的のクラウドファンディングを支援しましたか？

年齢・性別で大きく異なる結果となった。特に20代においては男女で支援の目的が大きく異なっており、男性では「途上国の子ども支援」、女性では「被災者支援」がトップの目的となった。「個人・団体の夢の応援」が女性40代において突出して高くなっている。

支援したクラウドファンディングの目的(支援したことがある:1,321人)

男性

女性



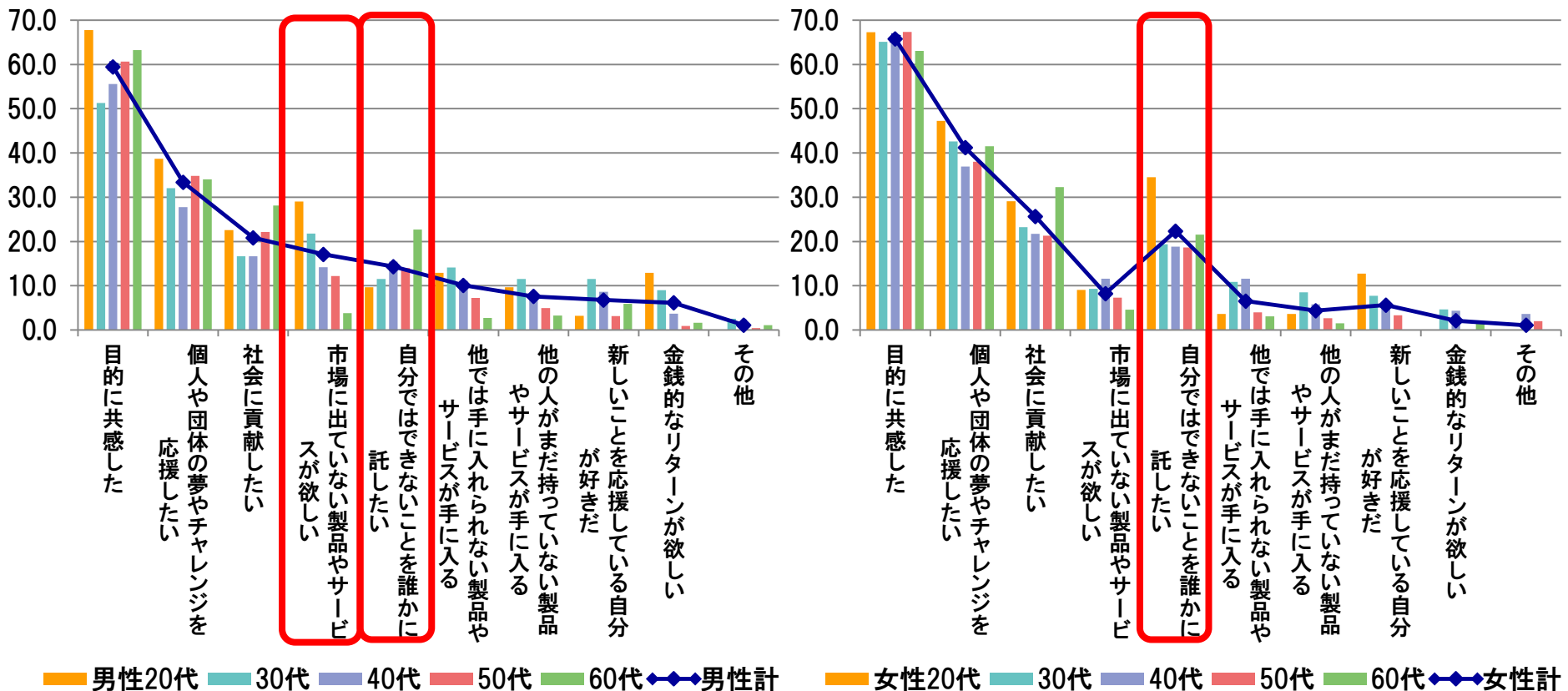
Q.クラウドファンディングで支援を行うのはどのような理由ですか？

「目的に共感した」が男女共どの年代でも最も多い。男性では「市場に出ていない製品やサービスが欲しい」が若年ほど高いが、女性はその傾向は薄く、代わりに男性では60代が高い「自分ではできないことを誰かに託したい」が20代で高くなっている。同じ若年層でも男女でクラウドファンディングを行う動機が違いそうだ。

クラウドファンディングで支援する理由(支援したことがある:1,321人)

男性

女性



Q.クラウドファンディングで支援をしてよかったことは？（自由回答）

募金などの支援の仕方よりも、自分が主体的に関わっている実感を得られることが、大きなモチベーションになっている。プロジェクトの過程や結果が支援者に共有されることが、参画感を上げることに寄与しているようだ。目的が明確なので、他者や社会の役に立てた実感も得やすいようだ。

クラウドファンディングを支援してよかったこと（自由回答）

個人の夢やチャレンジを応援することで成功したときの喜びを分かち合えたこと。（20代男性）

一緒に夢を追いかける気持ちになれた。（50代男性）

目標金額に達して、クラウドファンディングが成立した時は、思わず感激いたしました。自分が共感した事柄だったので、余計に嬉しかったのだと思います。（60代男性）

その後の頑張りや、地域の貢献報告等が見られ嬉しく感じます。（30代男性）

欲しい物やサービスを実現してくれて、自分が優先的に使用できると良かったと思う。（30代男性）

少しでもお手伝いしたと実感できた。（60代男性）

共に取り組んだ
気になれる

過程・結果が
わかる

モノ・サービスが
手に入る

役に立てた実感

少額ですが支援できて、同じ夢を仲間と共感できて良かったです。達成感がありました。（20代女性）

応援している人の頑張りを日々チェックするのが生活の楽しみになって実際に挑戦が成功したときに その人と同じような達成感を覚えたこと。（30代女性）

ただの募金と違って目に見える支援なので過程や結果が分かり自分も支援したという満足感があること。（40代女性）

新しいサービスの手助けをし、リターンで自分もいち早くサービスを利用できるのが嬉しい。（30代女性）

自分も協力出来たんだな、小さなチカラでも自分の力が少しでも役に立ったんだなというところ。（50代女性）

Q.クラウドファンディングで支援をして失敗したことは？（自由回答）

「失敗した」という回答はあまりなかった。支援する際の見極めを行っている・そもそも見返りを求めないので失敗という感覚がない、という回答が多く挙げられていた。失敗したことがある人は、リターンへの不満や、支援したプロジェクトの過程や結果についての不満が多かった。

クラウドファンディングを支援して失敗したこと（自由回答）

ないです。そんなに見返りを求めるほどの支援はしていません。(40代男性)

今まではないが、その名をかたる詐欺まがいのものには注意したいと思います(60代男性)

商品がいつまでたっても完成せず、お金を支払うだけになってしまった。(20代男性)

商品に対するクラウドファンディングであったが期待していた商品では無かったので失敗したとの認識です。(50代男性)

最初のうたい文句だけは素晴らしかったが、運用が始まったらぱたりと状況報告が無くなり残念だった。(30代男性)

結果報告他使用用途の報告なくサイトが閉鎖してしまった事がありました。(40代男性)

ない

むやみやたらに支援しないので、失敗はない。(40代女性)

失敗なのかもしれませんが、自分では出来ないことを託したのだから失敗したとは思わない様にしています。(40代女性)

リターンへの不満

プロジェクトが頓挫し、結局製品が手に入らなかった。(40代女性)

お礼品が遅かった&違うものになった。(安いものになった)。(30代女性)

過程・結果が不明確

結局長続きせずポシャってしまったので、支援をした甲斐がなかった(50代女性)

使い方が雑に思えた。金額に比例しない。当事者からの感謝など、お金を集めた周辺のその後の配慮がない(50代女性)